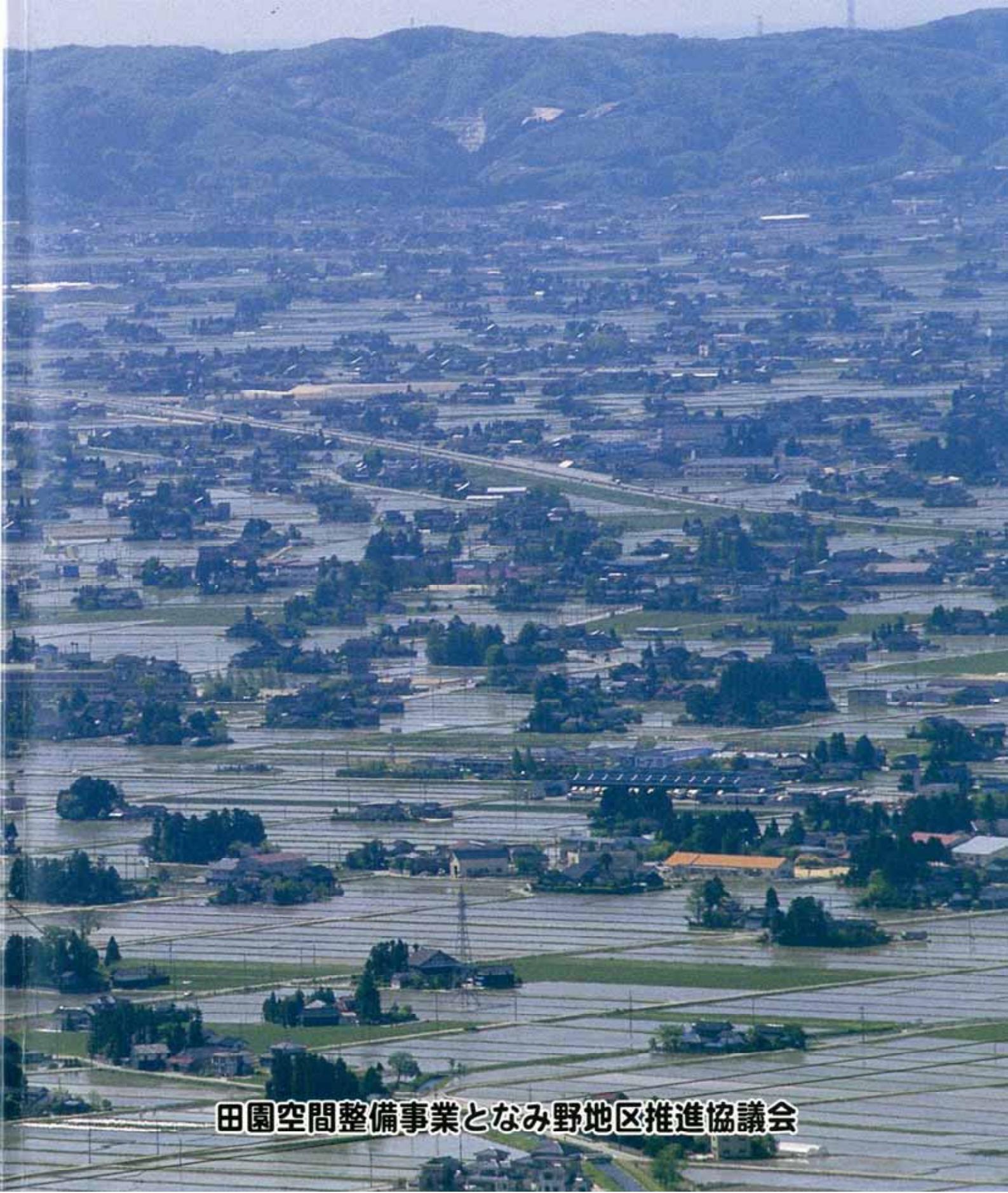


砺波平野の屋敷林を学ぶ やしきりん



田園空間整備事業となみ野地区推進協議会

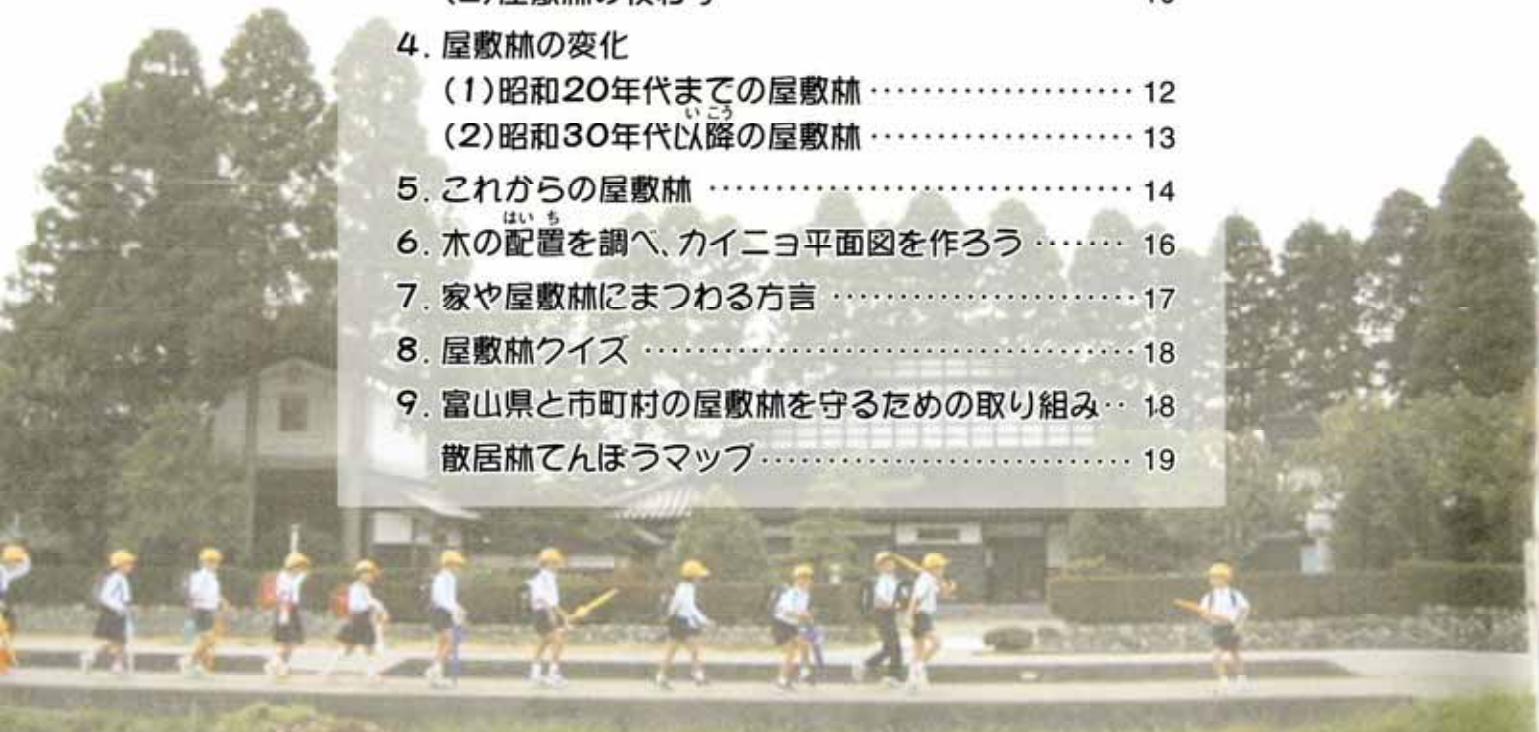
はじめに

みなさんの住んでいるところに屋敷林のある家はありますか。屋敷林とは、こんもりとした木々に囲まれた農家のたたずまいのことです。砺波平野に生きてきた先人が、自然との調和をはかけて、長年にわたって築き上げてきました。この屋敷林のおかげで、わたしたちは毎日とても快適に過ごしていますし、安らぎとうるおいをいっぱいもらっています。山の上から見える景色は、日本の農村の原風景をあらわすもので、心がなごみます。

ところが、屋敷林がだんだん減ってきてているのです。そこで、砺波平野に住む人々みんなでこのすばらしい景色を残すことを考えてみようと、この読本を作成しました。見なれている景色ですが、今一度、屋敷林のある風景を見つめ直してみましょう。

もくじ

1. 砺波平野	3
2. 砺波平野の散村	4
3. 砺波平野の屋敷林	
(1) 屋敷林の配置	6
カイニヨサイエンス	9
(2) 屋敷林の役わり	10
4. 屋敷林の変化	
(1) 昭和20年代までの屋敷林	12
(2) 昭和30年代以降の屋敷林	13
5. これから屋敷林	14
6. 木の配置を調べ、カイニヨ平面図を作ろう	16
7. 家や屋敷林にまつわる方言	17
8. 屋敷林クイズ	18
9. 富山県と市町村の屋敷林を守るためにの取り組み	18
散居林てんぽうマップ	19



1 となみ 研波平野



私たちの住んでいる砺波平野はどのようにしてできたのですか。



砺波平野には庄川と小矢部川の2つの大きな川が流れています。庄川は岐阜県の山中山に源を発し、庄川合口ダムのあたりで険しい山を抜け、富山湾に注ぐ全長115kmの流れの急な川です。豊富な水量をもった庄川は昔からたびたび洪水を起こし、長い年月をかけながら、たくさんの土や砂を山から運びました。その土や砂が、扇を広げた形にゆるやかに積もり、砺波平野になりました。この扇形の地形を扇状地といいます。



メモ

昔の庄川は小矢部川に流れこんでいましたが、洪水が起こるたびに東の方へ流れを変えていきました。今の流れになったのは約400年くらい前のことです。



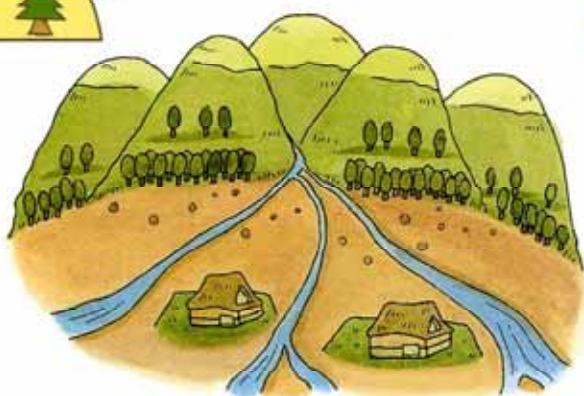
上の写真は空から砺波平野を撮影したものです。
写真と右の図をくらべて、思ったことを書いてみましょう。



2. 砺波平野の散村 さんそん

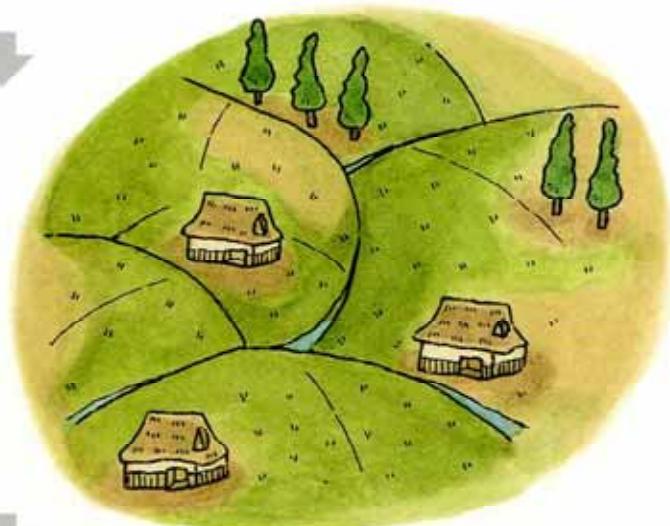


質問 さんそん
散村はどのようにしてできたのですか。



昔、砺波平野を開拓した人びとは庄川の洪水をさけるために、少し高いところをえらんで家を建てて住むようになりました。

水は扇状地の傾きを利用してどこへでも引けたので、稻の手入れがしやすいように家のまわりを自分の田んぼにしていきました。こうして田んぼの中に家がぽつんぽつんとある散村の形ができあがってきました。



一軒一軒離れた家は、冬の冷たい季節風や夏の日差しをさけるために、家のまわりに木を植え、大切に育てたのが屋敷林になりました。

メモ

用水から引いた水は米を作るだけでなく、家の敷地の中にも引いて飲み水や洗濯などにも利用しました。



豆知識



○散村 さんそん

田畑が広がっている平野に農家が一軒一軒ちらばっている農村の形のこと。一般的には散居村とも呼ばれています。この言葉に対して、数十軒の農家が一箇所に集まり、住むところと田畠とが分かれている農村の形を集村と言います。



下の2枚の写真を見比べてください。

○農業を行うにはどちらが便利だと思いますか。

○生活する上でどちらが住みやすいと思いますか。



■散村(砺波平野)



■集村(射水平野)



調べる

君の家は散村にありますか。となりの家まで何歩で行けるか歩いてみるとおもしろいよ。近い家3軒分をはかり、友達と比べてみましょう。一步の長さをもとにきよりを計算してみましょう。



3 砺波平野の屋敷林

(1) 屋敷林の配置



質問 屋敷林にはどんな木が植えられていますか。



回答

屋敷林はそこに住む人が自然との共生をはかった知恵の結晶であり、いろいろな種類の木が植えられています。

とくちょう

1

冬の冷たい季節風が吹きこむ方向には家を守るために冬でも葉っぱの落ちないスギなどの常緑樹が植えられています。スギは屋敷林の中で一番多く植えられています。



「砺波市鹿島地区屋敷林調査(全戸数対象)(平成8年)砺波歴史研究所」

とくちょう

2

台所のそばや北がわにはタケが植えられています。タケは湿気をとったりいろいろな道具の材料に使われます。



調べる

屋敷に生えている木の葉から木の種類を図鑑で調べてみましょう。

豆知識

木の分け方

葉っぱの形による分け方



針葉樹

針のような細長い葉っぱを持つ木
例)スギ、アメ(アスナロ)、マツ



広葉樹

幅が広くて薄い葉っぱを持つ木
例)ツバキ、ケヤキ、サクラ



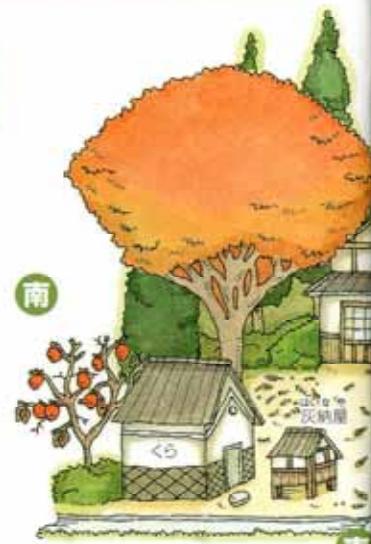
葉っぱのはえかわり方による分け方

常緑樹

緑の葉っぱを一年中付けている木

落葉樹

秋から冬にかけて古い葉っぱがいっせいに落ち、春に新しい葉っぱが出てくる木



東

西



とくちょう

3

家の正面(東がわ)には実のなる木や美しい花の咲く木が植えられています。



実のなる木



カキ



クリ



ウメ



イチジク

とくちょう

4

大きな木の下には生け垣やいろいろな小さな木が植えられ、離れて見ると小さな森のようになります。



メモ

砺波地方の家は正面を東向きに建てられているものが多くあります。大きな屋根に三角の妻面を正面に見せるアズマダチと言われる家のつくりがとくちょう的です。



調べる

屋敷林のある家に行き、木の配置を調べ、16ページのカイニヨ平面図を作ろう。





質問 屋敷林の中でスギが一番多いのはどうしてですか。



スギは人が生活する上で利用価値が高く、また砺波平野ではよく育つからです。スギは水分の多く含まれた土地を好みます。屋敷林は田んぼや小川に囲まれているため、スギの生育に適しています。

メモ

スギの落ち葉は「スンバ」と言って暖房や煮炊きの燃料として使われました。

■ おもな屋敷林の利用

スギ	防風林、建築用材、燃料
アテ、ヒバ	建築用材
ケヤキ	建築用材
カシ、エンジュ	農具、大工道具
タケ	食料、建築用材、生活用具、農具



豆知識



○灰納屋

灰小屋とも言います。スンバや稻わらを燃やした灰をためておく小屋。灰は肥料として田んぼにまいて、最後まで無駄なく利用されました。



家の近くに灰納屋がないかさがしてみましょう。

カイニヨサイエンス

~カイニヨの広がる砺波平野を科学する~

右の図は平成13年8月に、砺波平野の地表面の温度(建物や、水田・道路などの表面温度)を空からセンサーを用いて測定したものです。色が暗いほど地表面の温度は低く、明るいほど高いことをあらわしています。

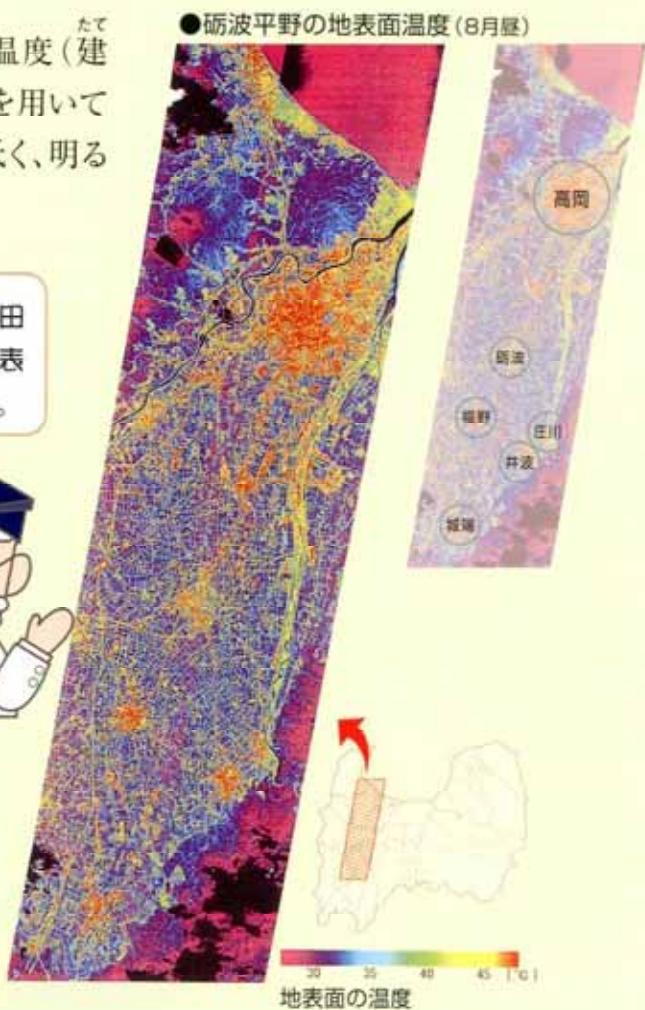


建物の多く集まる市街地より水田の広がる散村の方が約13°Cも地表面の温度が低いことがわかります。

地表面の温度が低いと、空気の温度(気温)も低いことがわかりました。



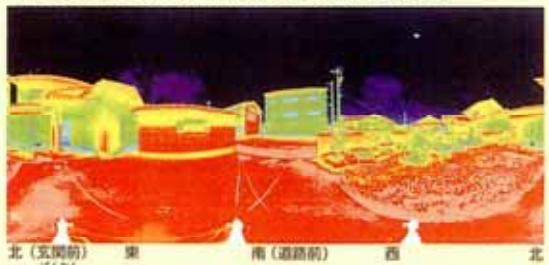
次にカイニヨに囲まれた家とカイニヨのない家とで真夏の日中の温度を比べてみました。下の図は熱画像と言って、まわりの木や建物、地面などの温度を色別にあらわしたものです。



●カイニヨに囲まれたアズマダチの家(南面)(8月昼) 気温32.7°C



●カイニヨのないコンクリートの庭のある家(南面)(8月昼) 気温37.2°C



みなさん、カイニヨがある散村のほうが市街地より夏は気温が低く、快適に暮らせることがわかつたかな。



 この熱画像の図からどんなことがわかりますか、考えてみましょう。

(2) 屋敷林の役わり

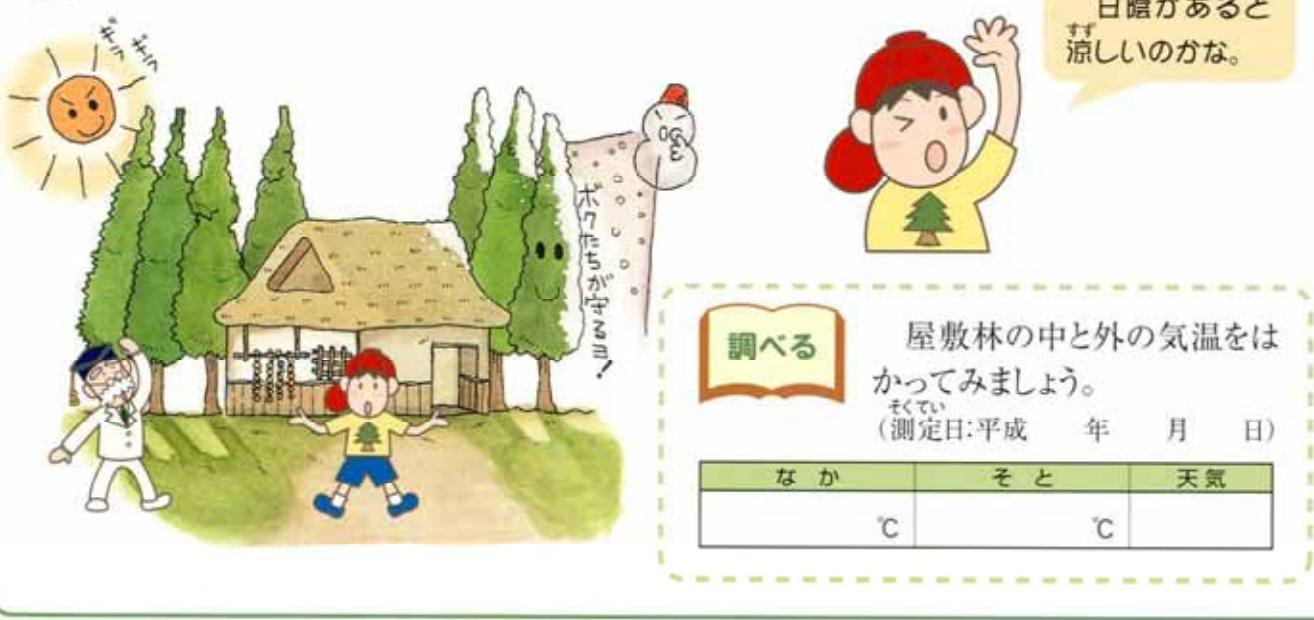


屋敷林は人々の暮らしの中でどんな役わりを果たしていますか。

① 強い風や冬の風雪から家を守ります。



② 夏の暑さや冬の寒さをやわらげます。



か葺き替え中の屋根



○茅葺き屋根

茅(ススキ、チガヤなど)で葺かれた屋根。

今ではほとんど見なくなりました。

チューリップ公園の中にある旧中嶋邸

③ スンバや小枝はイロリや風呂炊きの貴重な燃料として使われます。

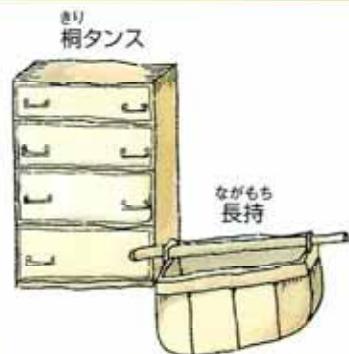
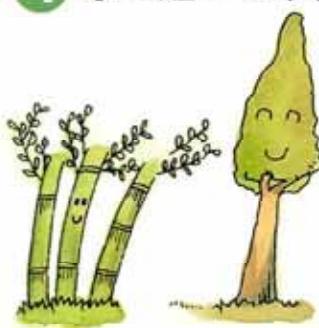
3人分のお米を炊くのに約
450gのスンバが必要です。



スンバ拾いは子供達の
大切な役目だったんだよ。



④ 家を建てる木材や生活道具の材料に使われます。



メモ 女の子が生まれると、嫁入り道具の材料にと桐の木を植えました。

⑤ 実のなる木を植えて食料とします。

(7ページ参照)

おやつの少ない時代
には、実のなる木は樂
しみの一つでした。



このように昔の屋
敷林は生活に密着し
ていたんだよ。



調べる

このほかにどんな役わりがあるか調べ
てみましょう。

4. 屋敷林の変化



質問

屋敷林はどのように変わってきましたか。



回答

昭和20年代までの屋敷林は生活と密着していて、切ったら植えるなどして大切に育てられました。しかし、昭和30年代以降生活様式が変わると、人びとは屋敷林をじゃまものあつかいするようになり、切られる屋敷林が増えました。

(1) 昭和20年代までの屋敷林

かやぶ
当時の家は茅葺き屋根が多く、防風林としての屋敷林の役わりがとても大切でした。



これは何をしていたときの写真ですか。



ていきょう まよどしりょうかん
写真提供:砺波市立砺波郷土資料館



メモ

江戸時代には七木の制により大切に育てられました。



きょうぼく せんそう
供木と言って、戦争の時、物が足りなくなつたので、屋敷林が切られました。この供木により散村の風景が大きく変わりました。しかし、戦争が終つた後、人々は再び家のまわりに木を植え、それが今この日の屋敷林として残されています。



七木の制

むだん きん おき かがはん すぎ きり かし
山や林に生えている木を無断で切ることを禁じたこと。砺波地方を治めていた加賀藩は、杉、桐、櫻、松、檜、栗、楓の7種類の樹木を特に大切にするように命じ、守らせました。

きょう ほく
供 木

ひこうき さいりょう
工場や船や飛行機の材料として利用するために、木を切って国へさしだしたこと。

農村生活
改善運動

ひざ かげ
家に日差しを入れ、台所を明るくするために、陰になる木を切るようにすすめた昭和20~30年代の運動。あわせて、家の改築も進みました。

メモ

かいぜん
戦後は農村生活改善運動により、県や市町村から屋敷林を切る指導が行われました。

(2) 昭和30年代以降の屋敷林



生活様式の変化

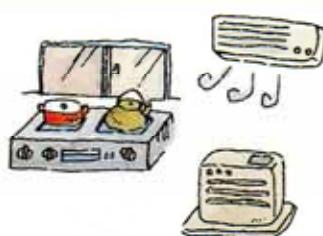
むかし

物が豊かになるにつれて人ひととの屋敷林に
対する気持ちが変わっていきました。

いま



屋根が茅葺きから瓦に変わり、
アルミサッシやトタンなどの新しい
建築材が使われ、防風林として
の役わりを必要としなくなりました。



ごはんを炊いたり部屋を暖めたりするのにガスや電気が使われるようになり、燃料としてスンバも燃やさなくなりました。



生活に必要な道具はアルミやプラスチックなどでできた製品を店で買ってきて使うようになりました。

生活様式が変わり、さらに下記の理由で屋敷林が減ってきました。



メモ

家を建てる木材は外国から安く輸入され、屋敷林が使われなくなりました。

屋敷林が減ってきてている理由

理由①

スンバの掃除が大変なので、切られました。



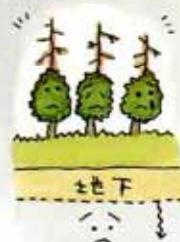
理由②

家の建て替えや、車庫をつくる時に切られました。



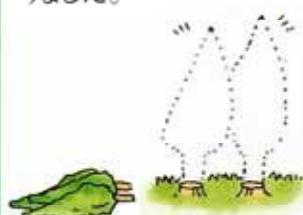
理由③

地下水位が下がり、水が不足した時に枯れました。



理由④

台風で倒れた後や枯れた後に木を植えなくなりました。



調べる

そのほかに減ってきてている理由があるか調べてみましょう。

5. これからの屋敷林



これからの屋敷林の果たす役割は何ですか。

それは美しい景観や住みよい地域・郷土をつくっていくことです。そのためには、木を大切にし、切った後には新しく植え、育てる必要があります。



② 空気をきれいにします。



光合成により酸素をつくります。
チリやほこりを幹や葉っぱに取りこむ働きがあります。

③ 砺波平野全体の風を弱める働きがあります。



豆知識 ○ フィトンチッド

「フィトン」とは植物をあらわし、「チッド」とは細菌やカビを殺菌したり、害虫を寄せ付けないということを意味しています。

○ 光合成

植物が日光を利用して二酸化炭素と水からデンプンを作り、酸素を放出すること。酸素は私たちが呼吸するときに利用されます。



① 美しい景観をつくります。



春秋
夏
冬

木はフィトンチッドという体にいい成分を発散します。

④ 安らぎと潤いをあたえてくれます。

フィトンチッドの効果

- 体をリフレッシュさせます。
- 動物の死骸や枯れた木などの臭い匂いを消します。
- 人に悪い影響をあたえる病原菌の発生を防ぎます。

毎日が森林浴だね。



⑤ 身近な生き物の生息場所になります。



どんな生き物がいるか探してみよう。

⑥ 歴史的価値があります。

メモ

最近、石油の使いすぎにより空気中に二酸化炭素がふえています。二酸化炭素は熱をにがさない性質があり、地球の温暖化が心配されています。植物は光合成をおこない、二酸化炭素を吸収するので、地球温暖化防止に役立つことが期待されています。

どうだつたがな。りっぱな屋敷林を残していくことによって住みやすい環境がつくられるのだよ。これからも屋敷林を残していく必要性がわかつたがな。





はい ち

6. 木の配置を調べ、カイニヨ平面図を作ろう

北

西

東

南

カイニヨ 平面図の 作りかた

1. まん中に家を書きます。
2. 方位や木の名前に注意しながら、屋敷林のシールをはります。
3. たりないシールや家のまわりの建物(なや、ぐらなど)を書きます。
4. 小川や田んぼ、道路を書いて完成させます。



家や屋敷林にまつわる方言

○砺波平野に伝わる古くからの言い伝え

「高(たか)は売ってもカイニヨは売るな」

立派な屋敷林に住むことを誇りにして、先祖代々からの屋敷林を大切に守り育てようということ。昔はカイニヨの大きさで家柄を示したそうです。



アマ

カイニヨ、カイナ	屋敷林
スンバ	スギの落ち葉
コッサ	落葉樹の落ち葉
アマ	屋根裏
クズヤ	茅葺き屋根のこと
ヤシキマタイ	かたづける、管理する
エンナカ	いろり
ワラニヨウ	わら積み
マエ	東がわ
セド	西がわ、うら庭
オモテバ	南がわ
ウランカタ	北がわ
スンゴシワ	スギの生け垣
ドンド	堰
ホワタ	池
コード	川処(洗い場)
ツボ	台所の排水をためる池(流し汁)
ジュウグチ	入り口
ニヤーワ	庭
イ(エ)	小さい川



クズヤ



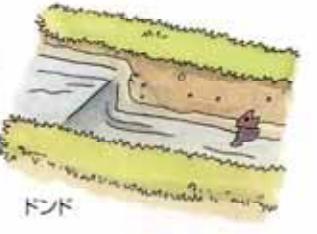
エンナカ



ワラニヨウ



スンゴシワ



ドンド

ほかに方言がないか調べて
みましょう。

調べる

（This section contains four blank lines for writing responses.)



8. 屋敷林クイズ（3つの中から1つだけえらびましょう）

1

屋敷林は何のために植えられましたか。

- A: 強風から家を守るため
- B: けものから身を守るため
- C: 鳥をつかまえて食べるため

2

木を供して切られた屋敷林は何に利用されましたか。

- A: 紙の原料として
- B: 机やイスの材料として
- C: 工場などの建物の材料として

3

屋敷林に見られる木は。



- A: シラカバ
- B: ヤシの木
- C: スギ

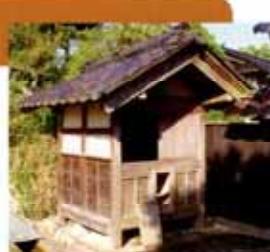
4

屋敷林に見られる実のなる木は。

- A: バナナ
- B: カキ
- C: パンバイヤ

5

この小屋は何の小屋ですか。



- A: 灰を入れておく小屋
- B: 犬小屋
- C: 昔の便所

9

富山県と市町村の屋敷林を守るために取り組み

○屋敷林を守る協定を結んだ集落に対し、屋敷林の枝打ちなどにかかる費用を支援しています。



6

竹はどんなところに多く植えられていますか。

- A: 台所などのじめじめしたところ
- B: 南や西などの日当たりの強いところ
- C: 季節風が吹いてくる方向

7

スギの落ち葉(スンバ)は何に利用されていましたか。

- A: 煮込みや体をあたためるための燃料として
- B: 直接田んぼにまいて肥料として
- C: 蚊のえさとして



8

なぜ散村の形ができたのでしょうか。

- A: 隣近所なかが悪くけんかが絶えなかったから
- B: 農作業をするのに都合がよいかから
- C: との様の命令

9

3人前のお米を炊くのに必要なスンバの量は。



- A: 450g
- B: 1kg
- C: 10kg

10

屋敷林が減っている理由は。

- A: 花粉症がふえているから
- B: 屋敷林を切って薪にしているから
- C: 手入れが大変だから

○「屋敷林の維持管理の手引き」を作成し、住民に配布し、屋敷林の保全に役立てもらっています。





カイニヨ平面図用シール

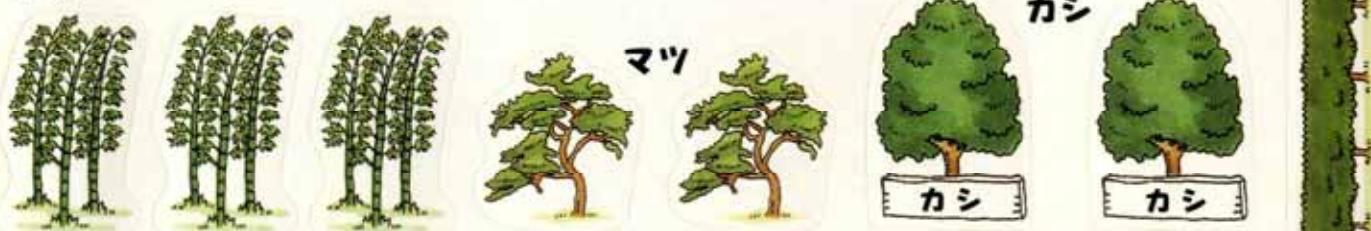


16ページにはって
カイニヨ平面図を
つくろう!

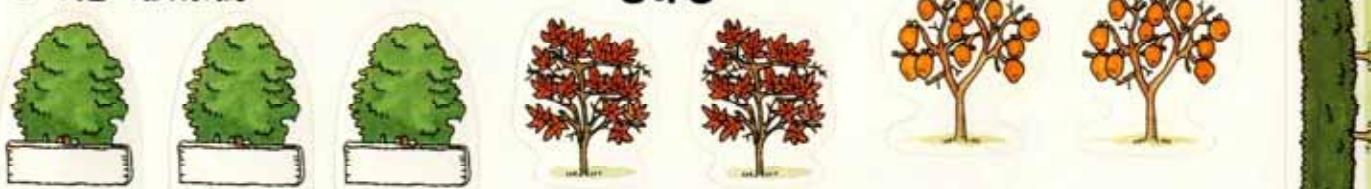
スキ



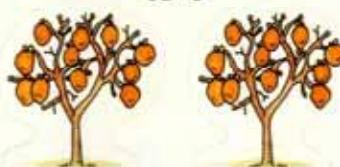
タケ



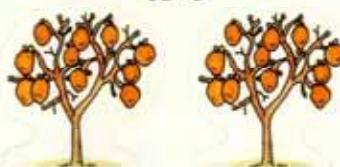
その他の広葉樹



もみじ



カキ



さくら

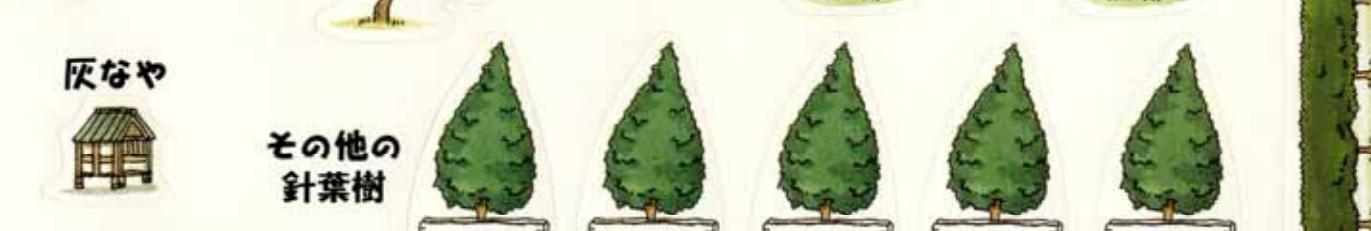


いちじく

クリ

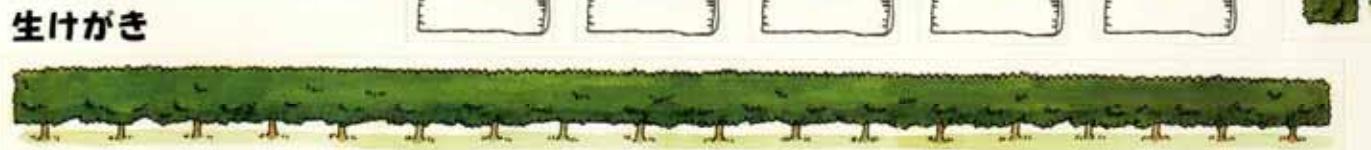


うめ



灰なや

その他の
針葉樹



生けがき

散居村てんぼうマップ



いろんな場所から
散居村をながめ
てみましょう。

参考文献

- 砺波平野の屋敷林 -散居に暮らした人々の自然との共生の証-
- 砺波市立砺波散村地域研究所
- 砺波平野の散村
- 砺波市立砺波散村地域研究所
- とやまの散居の屋敷林
- 富山県
- 富山平野の散村地域における屋敷林の現況と住民意識調査
- 富山県散村屋敷林研究会
- 林業技術ハンドブック
- 全国林業技術普及協会

この本の作成にあたり協力していただいた方(敬称略)

- 新藤正夫(砺波市立散村地域研究所所長代理)
砂田龍次(富山県教育記念館館長)
高原徹(砺波市立庄南小学校校長)
小幡律子(庄川町立庄川小学校教諭)

砺波平野の屋敷林を学ぶ

2003年3月 第1版 第1刷発行

2005年3月 第1版 第2刷発行

発行・編集 田園空間整備事業となみ野地区推進協議会
砺波市・南砺市・富山県



小学校 年 組

名前